



## 「不可能の反意語は」

学年主任 對馬 洋介

### 《しくじり先輩から学ぶ》

いよいよ夏休みとなります。各教科課題(裏面参照)があります。計画的に進めて欲しいと思います。与えられた課題は必要です。先週の全体会における「しくじり先輩」でも、以下のような話がありました。「僕は中1の時、夏休みは1日1時間くらいしか勉強しなかった。夏休みで合計たったの30時間。学校がある日は授業を6時間勉強しているわけだから、きちんと取り組むべきであった。」とのことでした。「時間の大切さ」を知ったわけです。深い思考ができるようになるには、知識・語彙の増加は不可欠なのです。

毎日決まった時間(もちろん午前中が良い)に机に向かい、決まった量をこなすことができる人は安心ですね。一学期の復習も含まれる課題を利用しない手はないのです。

課題と聞くと「やらされ感」を持つ人はいると思います。では、その前に自己点検です。

やって当たり前のこと(課題、テスト勉強等)が正しくできているのか。

本来すべきことを十分にせず、「やりなさい」等と言われると、言い訳を考えたり、口にしたりにしていませんか。

これは正しい姿とは言えるでしょうか。「やらされ感」を覚えた時点で、もっと謙虚に一学期を振り返るべきです。文句を言ったところで現状は残念ながら変わりません。やる以上、自分の利益にすべきです。課題を嫌だな、と「悩む」よりも課題の意義を各自で「考え」能動的に取り組んだほうが良いと思います。過去は変えられずとも、未来は変えられますからね。

### 《他流試合(夏のチャレンジ)》

さて、より主体的な課題は楽しいですし、必要かと思えます。そこで学年からの企画としては「他流試合(夏のチャレンジ)」を設定しました。これは個人(もしくは複数で)参加してみたいコンテストを見つけ、応募するというものです。コンテストは基本、何でも構いません。校内だけではなく、「外」で勝負してみましょう。新しい「世界」に飛びこんでみよう。

先日、授業で「不可能」の反意語は、と問いかけました。様々な答えが出た中、「努力」と答えた生徒がいました。素敵ですね。ちなみに私の答えは「挑戦」です。

地味な努力を重ねる

何でも挑戦してみる

もちろん、友人や家族との時間を大切にすることも忘れずに。

### 《「悩む」と「考える」の違いとは》

最後に、以前「できない理由探し」から「できる理由探し」をしよう、と述べました。その次のステップが、「悩む」と「考える」です。例えば、勉強方法に悩んでいます、と勉強方法を考えています、では「正解がない」という共通点はありますが、以下の点では異なります。

「悩む」とは、物事を複雑にしていく作業です。問題をより複雑にしていくイメージがあります。悶々としますね。

「考える」とは、物事をシンプルにする作業です。頭がクリアになる(する)イメージです。

学校が休みで時間はたっぷりあります。どう過ごしたいのかを「悩みますか?」それとも「考えますか?」

元気に夏明けに会いましょう。

### 《今後の予定》詳細は本日配布の8、9月の行事予定表をご覧ください。

8/5(土) 帰国生説明会(お手伝いする生徒のみ参加)

8/12~8/16 学校閉鎖期間

8/17~8/21 校舎貸出(予定)

8/26(土) 高校オープンスクール

8/28(月) 夏期講習(1~3限 英・数・国 4限 LHR)

8/29(火) 夏期講習(1~3限 英・数・国 4限 LHR)

8/30(水) 夏期講習(1~3限 英・数・国 4限 LHR)

9/1(金) 始業式(正装:授業なし)・避難訓練

※生徒にはすでに時間割を配布してありますが、夏期講習中も通常通り、8:20に登校してく

ださい。夏期講習は午前中で終わります。よって基本的には昼食は不要です。また、最終日の4時間目にはニュース検定の受験を予定しております。欠席する際には、普段同様、朝7:30~8:00を目安に欠席連絡を学校(03-3371-7109)までお願いいたします。



### 量=質

「量」には、たくさんの意味が込められている

考えた量からしか、質は生まれない  
練習の量からしか、質は生まれない  
努力の量からしか、質は生まれない  
情報の量からしか、質は生まれない  
感動の量からしか、質は生まれない  
記憶の量からしか、質は生まれない

「クリエイティブ・アイディアのヒミツのヒケツ」佐藤良仁+鎌倉生光(六曜社)

写真:「道路を作る少年」Erik Johansson(エリック・ヨハンソン)という1985年生まれ、スウェーデン出身のアーティストの作品です。彼は「不可能な写真」を画として表現することで見る者の心を驚嘆にします。